

猫 鳴 り

ようやく授かった子供を流産し、悲しみにくれる中年夫婦の下に、一匹の仔猫が訪れる。「モン」と名付けられ、やがてこの夫婦と暮らすようになった猫は、周囲の人々の心を、不思議な音色でかき鳴らしていく――。

この作品は3部構成で、その中心にいつもいるのが「モン」という名の猫だ。だが、モンはごく普通の一般的な猫であり、特別際立った行動も一切見せない。ただ生まれ、普通に年をとり、何をするでもなく死んでいく。ただありのまま、本能のままに「生きている」だけである。流産した女性、葛藤の中に生きる少年、妻を失くし孤独に余生を過ごす老人――。悩みを抱え足踏みをしていた彼らは、そんな蒙の「ただ生きる姿」に何かを感じ、そして自分なりの答えを見つけ、少しずつ歩を進めていく。「生きる力」とでも呼べばいいのか、そんな不確かでつかみどころの無いものに救われる彼らに、しかしなぜか、私たちは共感を覚えてしまう。普段は決して意識することの無い自分は「生きている」という事実。この作品を読んだ後、あなたの「生きる」は、きっと何かしらの変化を見せるはずである。

著者の沼田まほかるは、尼僧、建設コンサルタントを経て50代での遅咲きデビューを果たすという、異色の経歴を持つ作家。さまざまな経験を積んできた老練の彼女だからこそ到達した独特の、しかし私たちにもリアリティを持って感じられる「死生観」。時には残酷に思えるくらい、これでもかというほどまっすぐに描き切ったそれを、この作品を読んでぜひみなさんに感じてもらいたい。(IV)



沼田まほかる 著
定価：550円
双葉文庫

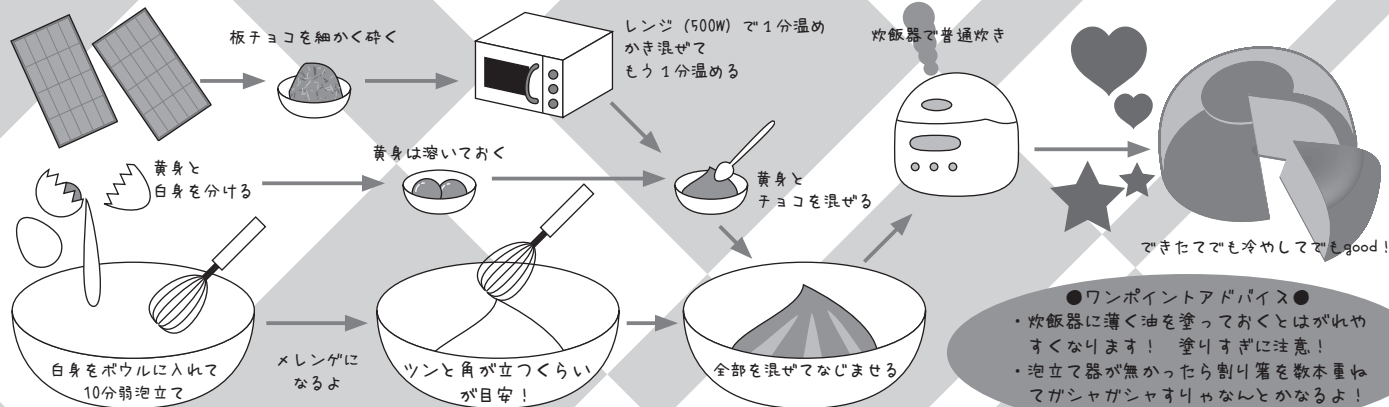


卵と板チョコと電子レンジと炊飯器と気合でできる

かんたん☆ガトーショコラ



なんと材料は
板チョコ2枚と
卵2個だけ！



はみだし
すてーじ

12ページに載りたい。
⇒ごめんなさい10ページで我慢してください。

(理・1 キノピオ)
(載らないよりはいいでしょう？；編)